

祈りと願い

糸満高等学校 三年

伊良部 美笛

月桃の葉の影に隠れた傷あと
三線の音に癒やされた悲しみ

瞳を閉じれば

記憶の向こうの戦火センカに揺れる

小さな島の片隅カタスミで

息を潜める 六十八年前の夏

閉ざす言葉は

形を忘れ

奪われた意味と声を捜す

命の声を乗せては歌う

島唄に

重なる想いは永遠エイエンに

僕達を導く

平和の祈り

祖父の三線と

祖母の手のひら

願いが形を伴うトモナ時

きつと 僕達の命は繋がる